

## 問に答ふ

一 畫才の有無は修養後にあらざれば  
知れざるか  
二 目下東京に於て苦學して  
繪を習ふことは出来るものにや  
三 二十  
歳過にても繪にて成功すべきや(NY生)  
◎一 たゞ一枚の繪を畫いて見ても解る  
が、最初は見込なしと思ひし人にして勉  
強中ある動機から有望となる例もあるか  
ら、成効は一に其人の勉強次第とも言へ  
やう  
二 繪も他の學問も同じことで、勞  
働して學問をなす人もあるから畫でも出  
來ぬことはない、出京早々クラな處へ入  
らうの、時間を澤山貰はうなどと思はず、  
如何なる賤業でも厭はず辛抱して、徐ろ  
に時間と學費を得て修業するのなら出來  
やう、併し何よりも身體が壯健でなくて  
はいけぬ、また辛抱強くなくてはいけぬ。  
苦學の事は、中學世界の島貫先生に相談  
した方が安全である  
三 二十歳以上でも  
決して差支なし、其人の意志一つである  
四 地方にあつて正式に研究する方法  
二 石膏模型の各部分の普通使用期  
三

繪具の使用時機  
四 太平洋畫會等にて  
會費を納めて獨習者の繪の批評を受けら  
るや(北海道自然兒)  
◎一 木炭にて石  
青像の寫生を試むのであるが、誰れか教  
師が居ないと自分の誤りが分らぬから進  
歩しない、當分上京出來ぬなら其間は鉛  
筆寫生でもシツカリやつたらよからう  
二 意味がよく分らぬ、一の部分の寫生は  
幾日位やるものかとの事なら、研究所な  
どでは通例一日三時間六日で仕上ること  
になつてゐる、但それで時間が不足なら  
充分満足する迄やるがよい  
三 輪廓が間  
違なく取れて、濃淡の調子が正しく見え  
て、物のマル味や距離が實物を見るやう  
に明らかに畫けたら色彩に移つてもよい  
が、これはたゞ規則だけのことで、其前  
に繪の具を持つてはならぬといふのでは  
なく、あまり早くから繪具の方ばかりや  
りたがつて、形や濃淡をおろかにしては  
いけぬと申迄なり  
四 他の會ではタトヘ  
會費を拂つてもそんな面倒は見してくれ  
ない  
◎一 大阪の葉月會は未だありや  
二 日本水彩畫京都支部は廢されしや  
三

會友の徽章はありや(月峰生)  
◎一 知  
らず  
二 京都支部は關西支部と合併の相  
談ありて自然例會等中止のまゝなり  
三 只今品切  
◎一 會友は木炭畫及油繪の批  
評を受くることを得べきや  
二 五ヶ年程  
地方で木炭畫の研究をなして上京研究所  
へ入りても初學者と同様の取扱なりや  
三 繪畫研究者に必要な學科は何か(みづ  
ゑの親友)  
◎一 差支なし、但木炭畫に  
ては實物と比較出來ぬため、細かき部分  
の形や濃淡は分らぬから風景寫生の場合  
よりも不充分を免れざるべし  
二 其寫生  
したものを見た上でなければ分らぬが、  
如何によく出來ても直く高等科(人體寫  
生部)へ廻ることは六つかしからん  
三 解剖學、透視及透影畫法、美術史、外國  
語學の類  
◎一 製作及スケッチの區別を  
知りたし  
二 近視眼は畫家となる資格な  
きや(HM生)  
◎一 スケッチも一の製  
作である。質問の意は展覽會になど出る  
仕上つた繪と、スケッチとの區別といふ  
事ならん。スケッチは事に觸れて其形や  
組立や感じを寫し取る繪にして、略畫と

も下繪とも云へるが、其儘立派な美術品として差支なきものである。一の製作、即ち仕上つた繪といふのは、それ等のスケッチを土臺にして組立てたり、モデルを使ひ幾日もかゝつて書き上げた繪をいふので、完成されたものを意味するのである二 あまり高度でなければ差支ない

### 讀者の領分

■『みづゑ』六十九口繪堤の柳は面白く落葉松は前方の山岳の色が非常に氣に入つた、見飽がしない、こんな繪は他の號にも拜見したい(堀谷)■諸君先づ明けてお目出とらう一此度の臨時號は中々面白く拜見しました、中にも春鳥畫談は我々淺學の輩には後にも先にも無いやうな有益な記事と思はれました、あの春鳥畫談によつて迷の夢から目を覺ます人は私ばかりぢやなかうかと思ふのです、今後も時々三脚君にでも命じて『三脚物語』のうちへ斯る事や大下先生の少年時代から現位置にまで漕きつけた履歴話を載せて下さいませ、諸君も御同意でせう(非

折坊)■『みづゑ』臨時號は實に申分なき

出來てす、原色版の美事は近來出色、年

數回かゝる企を願ひます(浪華浪客)■臨

時増刊結構、自峰紀行は實地に往つたや

うで、先生と御同行したと同じ感じて見

ました、春鳥畫談有益の文字、とに角近

來になき愉快な雜誌で、先生達に謹んで

お禮申上ます(札幌K.T.生)■シシウ生

の『パレット物語』は汀鷗先生の『三脚

物語』の兄弟分で中々面白い讀物、但し

これが出たので先生が『三脚物語』を見

合せては困ります(吳の愛讀者)■年々

の文部省展覽會には、特別號として水彩

畫の受賞品及び、幹部先生の御出品を全

部原色版で挿入してほしい、そして記事

は、諸家の意見、作者の苦心談等を滿載

して頂きたい、恐らく同好諸君も異議を

ありませんまいと信ずる(習志野竹庵)◎

受賞者は初めから分らぬから、多くの時

日を要する原色版には出來ませぬが、せ

めて寫眞版にてもして、展覽會特別號を

出したら、さぞ諸君のお嗜好に投ずること

と思ひますが、何分只今の處では、か

ゝる際物を出す時間もなく、又適當な補

助者もない、そして開會中の十月と十一

月は、一年中の寫生好季節で、編者の尤

も多忙な時故、到底當分は出來ぬこと、

思ひます。尤も紀行のやうなもので、前

から用意の出來るものは、臨時に發行す

ることは困難ではありません。昨秋大下

先生はじめ、其他數畫伯の小豆島に寫生

旅行を試みられたことは、洋畫界にとり

て誠に慶すべき事でありませう。吾々は、

其一斑を知りたいため、寫生旅行につい

て『みづゑ』の臨時増刊をお出し下さい、

愛讀者諸君も御同意でせう(大阪西區泉

本)◎小豆島の寫生旅行は、原色版寫眞

版等約百枚を含む單行本が、弘文堂とい

ふ書店から近々發行されます、猶紀行の

一部及二三の寫眞は、本號以下三回程つ

けて、『三脚物語』で御紹介します(堀

谷の諸兄繪葉書有難ふ、拙畫御受取あ

りしや、猶不相變(鹿兒島市東千石町五

六中島重治)